

第173号  
2021年4・5月号

発行：峡南教育事務所  
地域教育支援スタッフ



富士川大橋

# かけはし

南巨摩郡富士川町蹴沢771-2  
TEL:0556-22-8154  
FAX:0556-22-8144

HPでも御覧になれます。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



## 目次：

峡南教育事務所長 あいさつ	1
増商高閉舎セレモニー 峡南高校章降納式 4高校同じ校舎で 始業式	2
ことぶき勸学院 入学式・開講式	3
地推協・峡南教育事務 所共催 講演会のお知らせ	3
峡南教育事務所 スタッフ紹介	4
峡南教育事務所より	4



感染症が収まらない状況ですが、新年度が始まりました。今年度もよろしくお願ひします。

峡南地域では2つの県立高校の引っ越しがありました。

学校が全国的に休業となった昨年2月末以来、新型コロナウイルス感染症による混乱は、すでに一年以上続いていきます。繰り返し起こる感染拡大の波は、安心した日常を容易には与えてくれませんが、そのような中ですが、今年春の訪れがいつもより早いように、草木の花が競うように次々と開花し、鮮やかな彩りを道々の景色に添えています。コロナ禍での生活に疲れた人の心を和ませ、希望の力を与えてくれて、いるようにも思えます。

本年度、峡南教育事務所は所長以下、総勢十三名で新年度を迎えております。昨年度末の人事異動で、次長、総務リーダーが交代し、総務スタッフが一増員されました。しかし、学校教育スタッフは一名減員となり、担当業務の遂行には改善が必要となりました。そのため、地域教育、総務も含めた教育事務所全体の業務において、峡南地区の各町当局、教育委員

務所は所長以下、総勢十三名で新年度を迎えております。昨年度末の人事異動で、次長、総務リーダーが交代し、総務スタッフが一増員されました。しかし、学校教育スタッフは一名減員となり、担当業務の遂行には改善が必要となりました。そのため、地域教育、総務も含めた教育事務所全体の業務において、峡南地区の各町当局、教育委員



## 令和三年度 峡南教育事務所長

### 玉島正隆 あいさつ

本年度、峡南教育事務所は所長以下、総勢十三名で新年度を迎えております。昨年度末の人事異動で、次長、総務リーダーが交代し、総務スタッフが一増員されました。しかし、学校教育スタッフは一名減員となり、担当業務の遂行には改善が必要となりました。そのため、地域教育、総務も含めた教育事務所全体の業務において、峡南地区の各町当局、教育委員



峡南地域の「かけはし」として頑張ります！

玉島正隆所長  
事務所近く旭橋の歩道

皆様方には、それぞれの場において子供たちの育ちから生涯学習に至るまで、常に関心とあたたかい眼差しを向けていただくとともに、教育事務所各種事業についてのご協力を賜りますようお願い申し上げます。本挨拶とさせていただきます。本年度もどうかよろしくお願ひいたします。

やゲーム依存等による生活バランスの乱れなど、子供たちの状況や取り巻く環境への注視は欠かせません。教育事務所としても、保育・教育の現場や健康福祉担当者などの情報交換を行いながら、できる限りの状況把握に努め、必要に応じ提起の機会などを通じて、関係団体や機関との連携を目指していきたいと思ひます。

# 増穂商業高校 閉舎セレモニー・嶽南高校 校章降納式

## → 4高校（青洲・増商・市川・嶽南）が市川三郷町の校舎で新生活をスタート！

嶽南地域では、令和三年度末に伝統ある三つの県立高校が歴史に幕を閉じます。そのため、現在四高校の生徒が青洲高校のある校舎で学校生活を送っています。引越し前の式として、市川高は昨年六月に校章移設式を行いました。増商高と嶽南高は、今年の三月二十五日に今までの校舎に別れを告げる式を行いました。その様子と三高校最後の新年度始業式を紹介します。

### 増穂商業高校 閉舎セレモニー

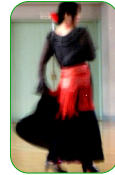
「学び舎に敬意と感謝を込め心温まる雰囲気の中で愛校精神を高めること」を目的に、体育館において主に式を行う第一部、芸術パフォーマンスが行われる

### 生徒からのメッセージ



第二部の構成で行われ、第一部は、古屋はるみ校長の「富士川舟運から歴史を刻んだ旧跡にあるこの学び舎を去るのはさみしい」との挨拶から始まりゆかりのある来賓が、それぞれの思い出や、増商高への思いなどを話しました。井上和男同窓会長は「絆を大切に」、堀内春美町議会議員は、「やらなければならぬことを好きだと思ってやればそれが宝物になる」ということを生徒に伝えました。日直代行や外部講師など

学校に尽力した方々に感謝状が贈呈され、最後に生徒会長の信田桃さんが、「コロナ禍ではあったが同窓生や地域に恩返しをしたいという思いで増商デパートを開催した。母校（の校舎）がなくなることは悲しいが新しい第一歩を踏み出すことでもある。これからも学んだことを生かしていきたい」と話しました。その後生徒も教職員も協力し、第二部の会場準備を行いました。



西川恵理香講師のピアノ演奏に合わせ

第二部が始まりました。二年生の塩島和奏（わかな）さんの箏演奏も加わり、柿崎菜穂子講師の書道パフォーマンスで、校歌や「誠実」という文字が書かれました。完成後、在校生二年生、教職員、来賓の参加者全員が、さまざまな色で手形を作品に残しました。そして、ソプラノ歌手の上野しのぶさんと一緒に全員で校歌を



合唱し終了しました。増商高らしく、明るく楽しく校舎に別れを告げるセレモニーでした。

### 嶽南高校 校章降納式

一方、嶽南高校では午後一時より正面玄関前で、在校生二年生と教職員、歴代の校長を含めた来賓が参加して、校章の取り外しを見守りました。飯嶋清二校長は嶽南高校の歴史や功績を話し「最後の嶽南生の活躍を願っていた」と挨拶しました。望月将名同窓会長は農工学校として始まった校章の由来を語りました。参加者で校歌を斉唱し、校舎正面の校章が取り外された後、長年嶽南高校に携わった山内惟治元校長が「負けじ魂」と「挑戦魂」を併せ持つ「嶽南魂」に触れ、熱い激励のことはを生徒に送りました。生徒会長の児玉幸翼さんは「三沢の地を離れることは悲しいが、最後の嶽南生として、前を向いて嶽南高校の歴史を青洲高校に引き継いでいきたい」と話しました。



### 応援団に見守られて

の嶽南生の活躍を願っていた」と挨拶しました。望月将名同窓会長は農工学校として始まった校章の由来を語りました。参加者で校歌を斉唱し、校舎正面の校章が取り外された後、長年嶽南高校に携わった山内惟治元校長が「負けじ魂」と「挑戦魂」を併せ持つ「嶽南魂」に触れ、熱い激励のことはを生徒に送りました。生徒会長の児玉幸翼さんは「三沢の地を離れることは悲しいが、最後の嶽南生として、前を向いて嶽南高校の歴史を青洲高校に引き継いでいきたい」と話しました。

身延町の三沢地区住民と嶽南高は関わりが深く、生徒が三沢川や久那土駅、通学路などを清掃してくれたり、応援団や野球部など部活動でのかけ声で地域が活気づいたり、夜には学校の照明が町を照らしてくれ安心できたりしたそうです。

住民の熱望により設立され、九十七周年という長い歴史を刻みました。多くの卒業生が、嶽南地区で働いており、地域に貢献しています。その精神は場所や名前が変わっても、引き継がれていくように感じられる厳かな式でした。

### 時間差での三校始業式

四月八日（木）、時間差で格技場、青洲ホール、大講義室で行われました。三校の小林智校長は、挨拶でそれぞれの校訓（増商高「誠実」、市川高「敬愛自尊」、嶽南高「質実剛健・勤労愛」）の精神を持ち続け「幸せになるために生きること」の大切さを話しました。感染症対策のため、校歌は録音に耳を傾ける黙唱でしたが、マスクの内側で口を動かしている生徒もいました。どの学校の生徒も最後の学年という自覚と誇りが感じられた式となりました。



### 生徒と校章

（この部分のテキストは上記の「時間差での三校始業式」の文章と重複しています）



嶽南 大講義室



市川 青洲ホール



増商 格技場

ことぶき勸学院 便り

新年度が始まりました

令和3年度入学式

四月十三日(火)にYCC県民文化ホール小ホールで令和3年度「ことぶき勸学院」入学式が開催され、県内全体で一六四名の新入生を迎えました。当初予定されていた入学式後の記念講演と二年生の始業式が、感染症拡大防止のために中止となりましたが、式は広々とした空間で十分に対策がなされて行われました。入学生代表が「学んだことで地域に貢献したい」という意欲に満ちたことを述べ、参加者はさらに前向きな気持ちになりました。

峡南教室開講式

四月二三日(金)は二年生、二七日(火)には一年生の開講式を、それぞれ午前九時より南巨摩合同庁舎三階大会議室で行いました。



2年生



中沢次長

二年生開講式

最初に、教育事務所中沢誠次長が学び続ける素晴らしさ、「数年後には仲間に入りたい」と話したので、会場は和やかな雰囲気になりました。二四名が二年生に進級し、学級長の鈴木政文さんが活動に向けての思いを伝え、新年度の活動に思いを馳せました。

最初に、教育事務所中沢誠次長が学び続ける素晴らしさ、「数年後には仲間に入りたい」と話したので、会場は和やかな雰囲気になりました。二四名が二年生に進級し、学級長の鈴木政文さんが活動に向けての思いを伝え、新年度の活動に思いを馳せました。



1年生

一年生開講式

二六名の新入生を迎え、玉島教育事務所長は「百花春至って我が為に開く」という励ましの言葉を贈りました。禅語の原文では「**木**字部分が「**誰**」ですが、所長は「自分の人生を一杯楽しもう」という気持ちを込め一字変えました。



担任

石川君男先生

令和3年度 峡南地域教育推進連絡協議会・峡南教育事務所 共催 講演会のお知らせ

\*開催場所は全て身延町総合文化会館の予定です。  
\*感染症の状況により中止の可能性があります。

教育フォーラム 7月6日(火) 15:00~

「**峡南地方 巨大水害 巨大地震を生き抜く**」  
~警戒 豪雨でも 地震でも 大惨事~



講師 **元NHK記者 林 晏宏氏**

県内大学や、県の教育フォーラムの講師の経験があり、参加者が講演後防災について真剣に考えるようになるお話が聞けます。

人権講演会 8月25日(水) 14:00~

「**愛は国境を越えて**」 (仮題)



講師 **作家 江宮 隆之氏**

映画化された『白磁の人』の作者。現在も「山梨近代人物館教育普及事業」等、様々な機会に、山梨県の歴史と文化について、広く講演を行っています。郷土愛溢れる熱い講演です。

子育て学習会 11月18日(木) 19:00~

「**子どもの心に寄り添って**」  
~幼児期・学童期の子育て~ (仮題)



講師：**認定カウンセラー 川邊 修作氏**

スクールカウンセラーや地域の子育て支援活動で活躍されています。前回の講演は豊富な例と聞きやすい声で、時間が短く感じたとの評判でした。

異校種連携セミナー 1月26日(水) 14:00~

「**発達段階に応じた子どもとの接し方**」 (仮題)

講師：**公認心理師/臨床心理士 一瀬 英史氏**

特別支援教育、教育相談の専門家であり、その活動を広げるために今年度よりフリーで活動を開始。優しく温かい講演で、会場はゆったりと時間が流れます。



# 令和3年度 峡南教育事務所スタッフ紹介

所長あいさつ(本誌1面)にもありましたが、本年度は4人の新しいメンバーを迎えました。「総務・地域教育支援・学校教育」のスタッフで峡南地域の教育を支援します。どうぞよろしくお願いいたします。

**総務スタッフ**

名取 武司<sup>🇯🇵</sup>  
有泉 千佳  
望月 由美<sup>🇯🇵</sup>  
清水 美紀子 (育休中)

★ 教職員の給与や旅費、各種手当に関するしるしを担当しています。

**所長**  
玉島 正隆

**次長**  
中沢 誠<sup>🇯🇵</sup>

**学校教育スタッフ**

★ 村松 章史  
★ 一瀬 清  
★ 成瀬 貴弘

★ 学校訪問での指導・助言、教職員の研修・研究会や教育相談に関すること、教科書採択事務の指導・助言、学校保健・給食・安全指導、「まなび」の発行など、学校教育に関わる多くのしるしを担当しています。

**地域教育支援スタッフ**

小林 さゆり  
水上 奈由美

★ 学校や町教育委員会と連携して、地域教育・社会教育・生涯学習の支援をしたり、「かけはし」の発行をしたしるしがあります。

**アドバンス  
ティーチャー**

熊谷 正

★ 経験三年以内の教員の資質向上のため、訪問指導を行います。

**スクールソーシャル  
ワーカー(SSW)**

中野 良男  
渡辺 実子<sup>🇯🇵</sup>

★ 児童生徒・保護者・教職員の支援・相談・情報提供や学校訪問を行っています。

## 峡南教育事務所より

昨年度まで年1度、冊子として発行していた「峡南地区『地域教育推進活動』に係る関係各機関の施策・事業年間計画一覧」ですが、今年度より「**地域教育推進活動事業一覧**」と名称を変え、**峡南教育事務所のホームページ** (<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>)に掲載することとしました。ご協力いただいた事業所の方々、ありがとうございました。なお、各行事は感染症の状況により延期・中止の場合もありますので、事前にご確認ください。

### 情報提供のお願い

地域教育情報誌「かけはし」は社会教育と地域教育の充実と発展に貢献することが目的です。地域での交流行事や、社会教育・生涯学習に関する取組や行事をご紹介ください。今年度もぜひご愛読を願います。

TEL 0556-22-8154 FAX 0556-22-8144